



平成 19 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 オーエム計画株式会社  
代表者名 代表取締役 鈴木 康司  
(コード番号・2401)  
問合せ先  
役職・氏名 財 務 担 当 飯 田 祥 久  
電 話 053-488-1553

## 事業の一部譲受けに関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月 23 日開催の取締役会において、株式会社オーエムソーラー協会（以下、「**株**OMソーラー協会」といいます。）との間で、一般建材販売事業及びシステム住宅販売事業を譲り受けることを決議し、以下の通り事業譲渡契約書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業譲受けの理由

当社は、パッシブソーラー技術であるOMソーラーシステムの開発・販売を中心とした事業展開しており、昨年末より住宅ローンサービス事業への進出も行ない、OMソーラーシステムの販売促進に邁進しております。加えて、今回の事業譲り受けにより、OMソーラーシステムを導入したシステム住宅部材と一般建材についても併せて提供できるようになり、相乗的な売上効果を狙い、さらなる業績拡大を目指しております。

一方、**株**OMソーラー協会は、地域工務店のネットワーク事業に注力すべく事業転換を図ることとなり、その他に取組んでいた一般建材販売事業とシステム住宅販売事業を撤退することとしました。当社は**株**OMソーラー協会より事業継承の打診を受け、**株**OMソーラー協会における一部事業と従業員等を譲り受けることとなりました。

## 2. 事業譲り受けの内容

(1) 譲り受ける事業の損益状況は次の通りであります。(期間：6月1日～5月31日)

(単位：千円)

	平成16年5月期	平成17年5月期	平成18年5月期
売上高	1,426,793	921,055	789,377
売上総利益	129,019	122,069	104,266
営業利益	45,057	50,551	48,955
経常利益	18,193	50,551	48,955

※ 上記数値は、未監査の数値です。

※ なお、平成17年5月以降につきましては、広告宣伝費及び業務委託費用や人員整理による必要経費の削減による一過性の利益増となっており、平成19年5月期につきましても、このまま(株)OMソーラー協会で事業運営を継続した場合は売上高・利益ともに減少することが予想されます。

(2) 譲り受け対象事業における資産、負債

商品在庫につきましては、(株)OMソーラー協会との協議により必要な在庫のみを通常の仕入として順次買取る予定です。その他、事業負債（借入金債務、保証金返還債務、違約金・損害賠償債務、租税債務その他公法上の債務、偶発債務、簿外債務、その他事業を遂行する上で必要不可欠で無い債務）は継承いたしません。

(3) 譲り受け価格及び決済方法

①譲り受け価格 上記損益状況からの引継ぎ事業計画により、年間25,000千円の利益計上が10年得られることを想定しており、250,000千円の対価を予定しております。

②決済方法 平成19年3月末 現金決済予定

## 3. (株)OMソーラー協会の概要

- ①商号 株式会社オーエムソーラー協会
- ②主な事業内容 環境共生建築を進める地域工務店の活性化・組織化に関する事業
- ③設立年月日 昭和62年2月27日
- ④本店所在地 静岡県浜松市村楠町4601
- ⑤代表者 代表取締役 石原信也
- ⑥資本金 49,000千円
- ⑦従業員数 18名
- ⑧大株主 従業員持ち株会 42.04%  
石原信也 15.51%  
外山喜章 11.93%  
鈴木康司 11.93%

- ⑨当社との関係           資本関係   該当なし  
                                人的関係   当社代表取締役である鈴木康司が社外取締役として就任  
                                取引関係   大口部材販売先の一つ

※ なお、上記⑧大株主である石原信也氏は当社筆頭株主（株式保有割合：14.90%）であり、  
外山喜章氏につきましても当社大株主（株式保有割合：2.77%）となります。

#### 4. 今後の日程

事業譲渡契約締結                   平成19年3月26日（月）

事業譲り受け日（予定）           平成19年4月2日（月）

※ なお、本件事業譲渡は、あくまでも(株)OMソーラー協会の株主総会決議もしくはこれに代  
替する裁判所の許可を条件とします。

#### 5. 会計処理の概要

事業譲り受け対価である250,000千円をのれんとして資産計上し、10年均等償却（年25,000千円）により費用計上する予定です。

#### 6. 今後の見通し

当該事業譲り受けにより、当社の事業規模が拡大し、業績への寄与が見込まれ、OMソーラーシステム部材の増加が見込まれます。  
ただし、当譲り受けによる当初利益は25,000千円程度を想定しているため、事業譲り受け初年度つきましては、当事業による利益はのれん償却費と相殺されると考えられ、全体利益の伸びとしては小さなものとなる見込みです。

以上